

☆二〇二四年をふりかえって

☆日本被団協のノーベル平和賞受賞！今年、平和へ希望をつなぐ出来事はこれだけだったのではないだろうか。二つの戦争（ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・ハマス戦争）は世界を暗雲で包み、日本は戦争準備に向かっています。

★世界の姿―戦争そして気候変動

◆まだ続く二つの戦争。その収束は全く見えていません。トランプ次期アメリカ大統領は、「終わらせる！」と公言していますが信じられますか？

◆「可能だ！」と言う人がいるかも知れません。しかし、仮に終わったとしても残された風景を想像してみてください。瓦礫の山と死体の山、そして相手への深い憎悪の感情が残るのみです。なんとこの戦争の罪深さでしょうか。

◆一方で人間の欲望を手放しで肯定する「新自由主義経済」の結果、未曾有の気候変動で地球は自然災害のるつぼとなり、この犠牲者は増加の一途です。

★日本の姿―戦争への傾斜と貧困

◆日本の姿はどうでしょうか。国は戦争の準備に余念がありません。来年度の軍事費予算は8・5兆円で過去最大です。5年で40兆円を超えます。

◆戦争準備に潤沢なお金を使っている一方で、貧困家庭の生活は深刻です。「子どもは1日2食、母親は1食です」というアンケート回答には言葉を失います。

★戦争準備のお金を困窮者と平和のために

◆今続いている戦争は世界の平和構築には無意味である事を証明しました。「武力による解決」という考えからきっぱりと訣別すべきことをこの戦争は教えています。

◆国連が機能を失った今こそ平和憲法を持つ日本の役割があります。「力による解決」を信奉するアメリカについて行くことを止め、平和のための調停役を積極的に担うことです。

◆来年こそは、平和憲法を持つ日本が非武力で世界の平和構築に寄与する国へ歩み出そうではありませんか。そして戦争準備に使うお金を貧困者に回そうではありませんか。

二〇二四年十二月八日（日）護憲平和行進（通算694回目）
浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

*来年（2025年）6月8日、浜松市憲法を守る会の平和行進は700回の節目を迎えます。
みなさんこの日の行進に参加し、歴史にあなたの足跡を残しませんか。



浜松市憲法を守る会のホームページは <http://gokenhamamatsu.g.dgdg.jp/>→

護憲浜松 で検索

日本国憲法 前文より

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想をわれらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようとし、全世界の国民が、社会にいて、名誉ある地位を占め、たいやうと永遠に除く。われらは、全世界の国民が、社会をひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。